

## 日本天文学会2007年春季年会のお知らせ

2007年春季年会は、2007年3月28日(水)から30日(金)までの3日間、東海大学(神奈川県平塚市)にて開催されます。プログラムや交通案内等は、天文月報の100巻3月号(2007年2月20日発行)に掲載予定です。

### (1) 料金表

項目	会 員	非会員	
参 加 費	3,000 円 (不課税) (但し会員で講演ありの場合、参加費は無料)	5,000 円 (消費税込み)	
講演登録費	3,000 円 (不課税)	5,000 円 (消費税込み)	(1講演につき)
年会予稿集	1,000 円 (消費税込み)	1,000 円 (消費税込み)	

※講演申し込み後キャンセルしても、講演登録費を支払う必要があります。

### (2) 受付期間および連絡先

事 項	受付期間・期限	送付先・連絡先等	関連項目	
講演申込	(郵 送)	2006年12月18日(月) 必着	日本天文学会年会係	(3) (4) (5) (6)
	(電子メール)	2006年12月5日(火) 正午から 2006年12月19日(火) 正午まで(注1)	年会Webページでアナウンス	
複数講演の順序指定	2006年12月25日(月) 正午まで	年会実行委員会	(7)	
ポストデッドライン・ペーパー	2007年3月19日(月) まで	年会実行委員会	(8)	
最新情報コーナー	年会会期中まで	年会実行委員会	(9)	
保育室の利用申込	2007年3月1日(木) まで	年会実行委員(保育室担当)	(10)	
講演の変更など	分かった時点ですぐに	年会実行委員会	(11)	
各種の会合申込	2007年3月1日(木) まで	年会開催地理事	(12)	
特別セッションの企画 招待講演・特別講演の講演者推薦	2006年12月1日(金) まで	年会実行委員会	(13)	
懇親会の会期前申し込み	2007年3月20日(火) まで	「(14)懇親会と参加申し込みについて」参照		
旅費一部補助	2007年1月20日(土) 必着	本号「旅費補助について」参照		
ジュニアセッション講演申込	2006年12月28日(木) 必着	本号「ジュニアセッションのお知らせ」参照		

(注1) 電子メールの自動受付は12月20日(水)午前9時まで行いますが、12月19日(火)正午以降はトラブルへの対応は一切いたしませんので、原則として12月19日(火)正午までに投稿してください。

### 連絡先

- ◆年会実行委員会 委員長 中本 泰史 (年会理事・東京工業大学)  
e-mail: committee2007@nenkai.asj.or.jp 電話: 03-5734-3535 FAX: 03-5734-3538
- ◆日本天文学会年会係 長谷川直子  
〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 日本天文学会年会係  
e-mail: committee2007@nenkai.asj.or.jp 電話: 0422-31-5488 FAX: 0422-31-5487
- ◆年会開催地理事 比田井昌英 (開催地理事・東海大学)  
〒259-1292 神奈川県平塚市北金目1117 東海大学総合教育センター  
e-mail: hidai@apus.rh.u-tokai.ac.jp 電話: 0463-58-1211内線4813 FAX: 0463-59-4047

年会開催期間(2007年3月28日～30日)の現地連絡先は、プログラムおよび予稿集に掲載します。

年会のWebページ <http://www.asj.or.jp/nenkai/>

**(3) 分野と「企画セッション」**

- ・講演分野は、以下の15分野です。  
J.高密度星, K.超新星爆発, L.太陽系, M.太陽, N.恒星, P.星・惑星形成, Q.星間現象, R.銀河, S.活動銀河核, T.銀河団, U.宇宙論, V.地上観測機器, W.飛翔体観測機器, X.銀河形成, Y.天文教育・その他
- ・今回は「企画セッション」はありません。

**(4) キーワード**

- ・分野のあとに、キーワードを記入してください。プログラム編成の参考にします。
- ・特に、以下の分野については「推奨キーワード」の中からも該当するものを選んで、キーワードの先頭に入れてください。
- ・観測機器分野（地上・飛翔体）で関連の深いプロジェクト名・衛星計画名などがあれば記入してください。

**◎ 推奨キーワード**

- 高密度星 : 白色矮星, 中性子星, ブラックホール, 新星, X線星, GRB, 降着円盤, MHD, ジェット, 連星進化
- 超新星爆発 : 重力崩壊, ニュートリノ, 衝撃波, 元素合成, 光度曲線, 超新星残骸
- 太陽 : 太陽内部, 光球, 彩層, 活動領域, プロミネンス, フレア, コロナ, CME, 太陽風
- 恒星 : 主系列星, 褐色矮星, 質量放出, ダスト, 惑星状星雲, 元素合成, メーザー, 恒星進化, 脈動
- 銀河 : 近傍銀河, 銀河系, 球状星団, 矮小銀河
- 銀河形成 : 銀河進化, 化学進化
- 地上観測機器 : 電波, 赤外線, 可視光, 重力波, 高エネルギー $\gamma$ 線, 宇宙線
- 飛翔体観測機器 : 電波, 赤外線, 可視光, X線,  $\gamma$ 線, 重力波

**(5) 講演の形式**

- ・(a) 口頭講演 (9分間の口頭発表と3分間の質疑応答); (b) ポスター講演・口頭発表付き (ポスターと3分間の口頭発表); (c) ポスター講演・口頭発表無し (ポスターのみ) の3種類を予定しています。講演時間は講演数によって変更することがあります。なお (a) 講演で講演者となれるのは、年会全体で1人1講演までとなりますのでご注意ください。
- ・口頭での発表は、オーバーヘッドプロジェクター (OHP) または液晶プロジェクターを使用してください。(b) 講演ではOHPを使用することを推奨しています。
- ・ポスター1枚あたりのボードの大きさは、プログラムに掲載します。(通常は、縦180cm, 横90cmです。)

**(6) 講演の申し込み方法****◆郵送による申し込みの場合**

- ・規定の原稿用紙に記入し、封筒の表に「講演申込書在中」と朱書の上、天文学会年会係までお送りください。
- ・規定の原稿用紙は、必要枚数、送付先を明記の上、e-mailあるいはFAXで天文学会年会係まで請求してください。

**◆電子メールによる申し込みの場合**

- ・年会のWebページに掲載します。

※講演は完成度の高いものに限ります。また予稿集の紙面を有効利用してください。予稿集の広範な読者を想定し、(i)十分な背景説明を行うこと、(ii)研究内容や結果・考察について具体的記述を含めること、の2点を心がけて下さい。これらに留意すれば、大抵は10行以上の予稿となるはずですが。以上のような配慮に欠ける、極端に短い予稿など不適切な講演申し込みは、受理しない場合があります。

※予稿集は事前配布となっており、2007年2月20日付で発行する予定です。年会のWebページでも発行と同時に内容が公開されます。公開後は講演の内容がメディアによって紹介されることもあり得ます。出版前の論文、特許に関係した論文等の講演をする際等、十分ご注意願います。

- ◆注意：講演者は氏名の欄で○をつけてください (必ずしも筆頭著者でなくても結構です)。講演登録費はこの講演者が支払うことになります。

**(7) 複数講演の順序指定**

・プロジェクト等で複数の講演を指定した順序で続けたい場合は、申し込み後期限内に、下記1~4を明記し、年会実行委員会宛にご連絡下さい。

1.セッション名 2.受付番号(漏れが多いので注意) 3.発表形式 (a, b, c) 4. 発表者名  
尚、(b) 講演は3つ一括りが原則です。3つに満たない場合は、最初か最後に並べて下さい。ご希望に添えない場合もありますので、ご承知置き下さい。なお、講演日時に関する要望は一切受け付けられません。

**(8) ポストデッドライン・ペーパー (PDL)**

・PDL は、単に講演申し込みの締切日に間に合わなかったものではなく、緊急性・トピックス性に富んだものに限定されます。具体的には、約半年後の次の年会での発表まで待つことができない明確な理由(個人的理由は不可)が必要です。通常の申し込みよりもかなり受け付けの基準が厳しくなります。

・年会の申し込み期間締切後、3月19日(月)まで受け付けます。上記の理由を添えて予稿原稿を年会実行委員会宛に送付してください。

・PDL の講演方法は、(b) ポスター講演・口頭発表付き(ポスターと3分間の口頭発表)または(c) ポスター講演・口頭発表無し(ポスターのみ)となります。ただし、プログラムに余裕がない場合は(c) 講演になります。

**(9) 最新情報コーナー**

・最新の情報を掲示するコーナーを設けます。こちらは、ポストデッドライン・ペーパーよりは緩い基準で受け付けます。また、年会での講演とはなりません。予稿集等には掲載されません。

・発表の形式はポスターのみです。スペースが無くなれば、受け付けを終了します。

**(10) 天文学会会期中の保育室**

・保育室を設置する予定です。詳細につきましては、年会のWebページに掲載しています。ご不明な点は年会実行委員(保育室担当)へ e-mail (hoiku2007@nenkai.asj.or.jp) でお問い合わせ下さい。

**(11) 講演のキャンセルや変更**

・やむを得ず講演をキャンセルしたり、講演者を変更する場合は、その理由を添えて速やかに年会実行委員会まで連絡してください。プログラム公開後は、講演番号もあわせてお知らせ下さい。

※講演のキャンセルは極力避け、可能な限り代理講演者を立ててください。

**(12) 年会時の各種会合**

・会合などのために会議室や講演会場などを使用したい場合には、年会開催地理事までご連絡ください。なお、会合が開けるのは、セッション等が行われていない時間帯に限ります。

・申し込みが多数の場合は、ご要望に沿えない場合もありますので、予めご了承ください。

**(13) 特別セッション・特別講演・招待講演**

・多くの会員が関心を持つ話題について、「特別セッション」を開くことができます。原則として同時に他のセッション等を行いません。また、会員の多くが興味を持つテーマについて、講師を依頼する「招待講演」や「特別講演」も時間が確保できれば行います。これらについては、年会実行委員長までご相談ください。

**(14) 懇親会と参加申し込みについて**

・懇親会は、2日目(3月29日)夜に東海大学・コムスクウェアホールにて開催されます。

・参加予定者はなるべく3月20日(火)までに、氏名(ふりがな付き)と所属、一般/学生の種別を添えて、専用のe-mailアドレス (banquet07s@nenkai.asj.or.jp) へその旨ご連絡ください。参加者数を早めに把握するためです。ご協力をお願いします。ただし、年会当日も初日に限り現地で受け付けます。

・会費は、3月20日(火)までにe-mailで申し込んだ場合は、一般 4000円、学生2500円です。年会初日に受付で申し込まれた場合は、それぞれ500円増しとなります。

中本泰史(年会実行委員長)

## 日本天文学会旅費補助について

日本天文学会では、正会員（学生）の年会出席旅費（交通費）の一部補助を行っております。希望者は、該当する申込締切日までに下記の用紙（学会の Web ページ <http://www.asj.or.jp/asj/forms.html> からダウンロードできます）に記入の上、郵送か FAX で申請して下さい。尚、確認の為氏名、所属を明記の上、申請書を送った旨のメール（[jimu@asj.or.jp](mailto:jimu@asj.or.jp)）を学会事務所へお送り下さい。

応募資格は、講演者（ポスター講演も含む）であり、天文学会の正会員のうち学生に対する割引会費が適用されていて、かつ正式な給与を受けていない人に限ります（日本学術振興会の特別研究員等は、補助対象外です）。

1. 旅費は、年会会場でお渡ししますので、印鑑をご持参の上、年会会場受付までお越し下さい。年会終了後にはお渡しできませんので、ご注意ください。
2. 補助金支給の決定については、特に連絡しません。
3. 本用紙をコピーしてご使用下さい。
4. 申請先  
 郵送：〒181-8588 三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 日本天文学会  
 FAX：0422-31-5487  
 締切 春季年会：1月20日・秋季年会：7月20日 必着  
 なお、電子メールでの申請は受付けていません。  
 不明な点は、学会事務所にお尋ね下さい（TEL 0422-31-1359）。

..... キリトリセン .....

### 年会旅費補助申請書

年 月 日

(社) 日本天文学会 理事長様

(ふりがな)  
 申請者氏名 \_\_\_\_\_ 会員番号 \_\_\_\_\_

所 属 \_\_\_\_\_ E-mail \_\_\_\_\_

講演受付番号 \_\_\_\_\_ 出 発 地 \_\_\_\_\_

講演題名 \_\_\_\_\_

指導教官所属・職・氏名  
 (自筆署名)

\_\_\_\_\_